

2012年1月11日

シトロエン、2011年の国内登録台数 対前年比+28.7%を達成**～13年振りに3000台を超える登録台数を記録～**

プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社(東京都渋谷区 社長:上野国久)は、2011年通年のシトロエン車の新車登録台数実績を3,092台(2010年同期:2,402台、同期比+28.7%)*と発表しました。2年連続でプジョー・シトロエン・ジャポン設立以来の登録台数を更新し、シトロエンは1998年以来13年振りに3000台を突破、プジョー(6,137台)に続きフランス車で2位のポジションとなりました。

*JAIA(日本自動車輸入組合)調べ 2011.1-12 新車登録実績より

2011年、シトロエンの好調を牽引したのはコンパクトモデル「C3」と「DS3」で、発売2年目となった昨年も売上げが好調に推移しました。特に「C3」はシトロエン全体の37%以上を占める基幹モデルに成長、8月に限定発売された「C3 Airplay」は数ヶ月で完売し人気となりました。一方、昨年発売を開始したミッドサイズハッチバック「C4」と「DS4」も、製品供給の遅れを抱えながらも第4四半期から着実に売上げを伸ばし、通年販売となる今年の活躍が期待されています。



2011年はセールスプロモーションやマーケティング戦略が実を結び、ホームページを通してのカタログ請求が20%増、試乗リクエストが96%増となるなど、シトロエンブランドの認知拡大に成功しました。2012年はDSラインの第3弾となる「DS5」を導入予定です。また「C3」や「DS3」の特別限定車の発売も予定しており、これら魅力あふれるモデルの投入によりシトロエン全体で3500台の登録台数を目標としています。

プジョー・シトロエン・ジャポンでは、2012年も引き続きシトロエン車の販売を強化すべく拠点整備と新しい手法を使ったコミュニケーション施策を導入し、新規ユーザーを獲得、シトロエンブランドの認知をさらに向上させて参ります。